

MICE関連施設整備の検討状況について

1 現在の取組状況について

- ウォーターフロント地区については、「クルーズ」「MICE」「賑わい」が融合した一体的なまちづくりを目指し、再整備に取り組んでおり、まずは、第1ステージのエリアについて、事業化に向けた検討を進めている。
- その中で、MICE機能の強化としては、第2期展示場等の先行整備を進めるとともに、ホール等のMICE関連施設について、具体的な施設計画や事業手法などの検討を行っており、今回、その検討状況について報告するもの。

■ 第1ステージ

今後10年間で、MICE・ゲートウェイ機能の強化とあわせ、賑わい等を創出

概ね
10年

① 先行施設

【世界水泳（H33）までに開業を目指す施設】

- ・ 第2期展示場，立体駐車場

② 中央ふ頭西側・基部+博多ふ頭

【MICE・クルーズ需要・賑わい創出への対応】

- ・ MICE・ターミナル・ホテル・商業施設等が一体となったまちづくりを検討

■ 第2ステージ

クルーズ・MICEの需要動向や埋立時期等を踏まえ事業化

概ね
20年



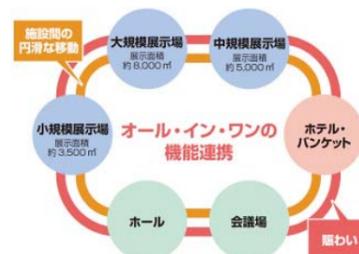
■ H28年10月決算特別委員会報告資料より

2 MICE機能強化の方向性

「オール・イン・ワン」の実現による国内有数のMICE拠点の形成

- ・ 展示場や会議場，ホールなどのMICE関連施設が徒歩圏内に一体的・機能的に配置された「オール・イン・ワン」の実現
- ・ 新たな展示場の整備やホールの機能更新により供給力を向上し，多様なMICE需要に対応
- ・ ホテルや賑わい施設等の誘致による，円滑なMICE開催や参加者の利便性の向上
- ・ エリア内の円滑な歩行者ネットワークの形成による，MICE開催環境の向上
- ・ 公共交通を中心とした交通アクセスの向上や交通環境の改善

■ 「オール・イン・ワン」の概念



■ 「オール・イン・ワン」の事例



市民や国内外からの来街者が楽しめる，水辺を活かした賑わいの創出

- ・ 水辺の環境や賑わい施設との連続的・一体的な賑わいの創出
- ・ ウォーターフロント地区のエントランスとして，シンボリックで新たな顔づくり

3 MICE関連施設の整備概要（案）

「オール・イン・ワン」のMICE拠点の形成に向けて，以下のMICE関連施設の整備等について，検討を進めている。

■ 施設の拡充・機能強化による供給力の向上

- 第2期展示場の整備（展示面積5,000㎡）
- 福岡サンパレス大ホールの機能拡充・更新（約2,300席 → 2,500～3,000席）

■ 円滑な歩行者ネットワークの形成

- 各施設間を結び道路を横断する，歩行者動線（デッキ等）の確保（幅員3～6m）

■ 適切な駐車場の確保・交通アクセスの強化

- MICE関連駐車場の確保（約1,700台）
 - ・ 立体駐車場の整備（約800台）
 - ・ 都市高速南側を主としたコンベンションゾーン内の駐車場確保の検討
- エントランスゾーン（福岡サンパレス用地）における交通機能の確保
 - ・ 公共交通専用動線の整備
 - ・ 交通広場機能の整備（臨時バス等への対応）

■ 賑わいの創出

- 賑わいや交流を創出する広場の整備（大屋根広場等）

■ MICE開催環境の向上

- VIP向けの質の高い部屋を備えたホテル（250～300室）の誘致
- 賑わいやMICEの利便性向上に資する賑わい施設等の誘致

※ 今後の課題

- ・ 福岡国際センターについては，大規模改修の時期等を踏まえ，展示機能の集約化や機能強化の観点等から，建替時期や場所等について検討を進めていく。

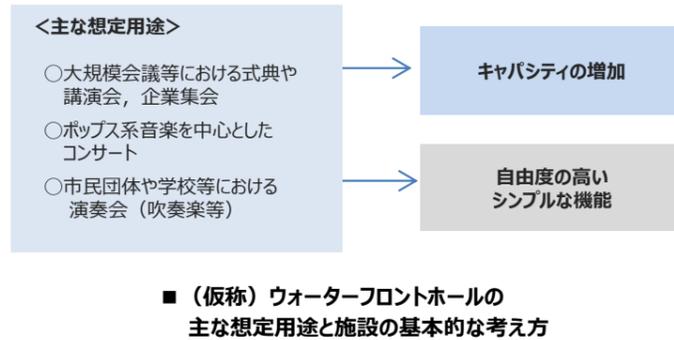
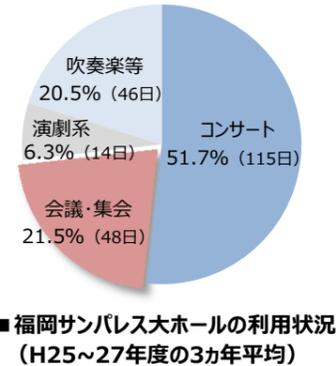


4 (仮称) ウォーターフロントホールの施設概要 (案)

福岡サンパレス大ホールの代替施設となる(仮称)ウォーターフロントホールについては、以下の内容を基本に、引き続き、詳細な検討を行っていく。

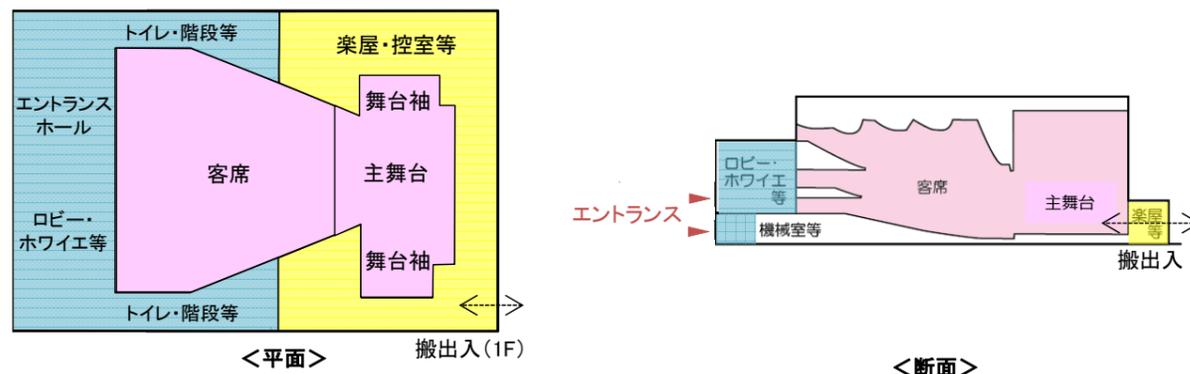
1) 基本的な考え方

- 現在の福岡サンパレス大ホールの利用状況や、新ホールが将来に向けて果たす役割などを踏まえ、式典・講演会などの「MICE系」、及びコンサートなどの「音楽系」の利用を主としたものとする。
- 大規模な式典や講演会等の開催も可能なキャパシティを備えるとともに、多様なコンサートニーズ等に対応可能な、自由度の高いシンプルな機能のホールとする。



2) 求められる施設構成

- 席数**：2,500～3,000席 ※ 固定席を2,500席程度とし、大規模会議等で使用する場合、最大3,000席程度を確保できるよう、席数を変更できる仕組みとする。
- 施設構成**：主な想定用途（コンサート等）を踏まえ、以下を基本とする。
 - 【**舞台**】・主舞台は、福岡サンパレス大ホールと同程度の規模（サンパレス大ホールの主舞台：開口20m×奥行20.5m）
 - ・吹奏楽やコンサートでの舞台演出等を想定した舞台袖、舞台上部の空間を確保
 - ・生演奏等に対応するため、可動型の音響反射板を設置
 - ・舞台転換を想定した奈落、演出用迫りは設けない
 - 【**諸室**】・ホールエリア／客席、舞台、各調整室、エントランスロビー、ホワイエ、楽屋、リハーサル室 等
 - ・管理エリア／事務室、受付カウンター、倉庫 等
 - 【**動線**】・メインエントランスホールでは、多数の来場者が滞留するのに必要な十分なスペースを確保
 - ・搬出入動線やヤード、駐車スペースを確保し、円滑に催事の設営・撤去ができるよう配慮



■ホールの施設構成イメージ

5 第1ステージにおけるMICE関連施設の進め方について

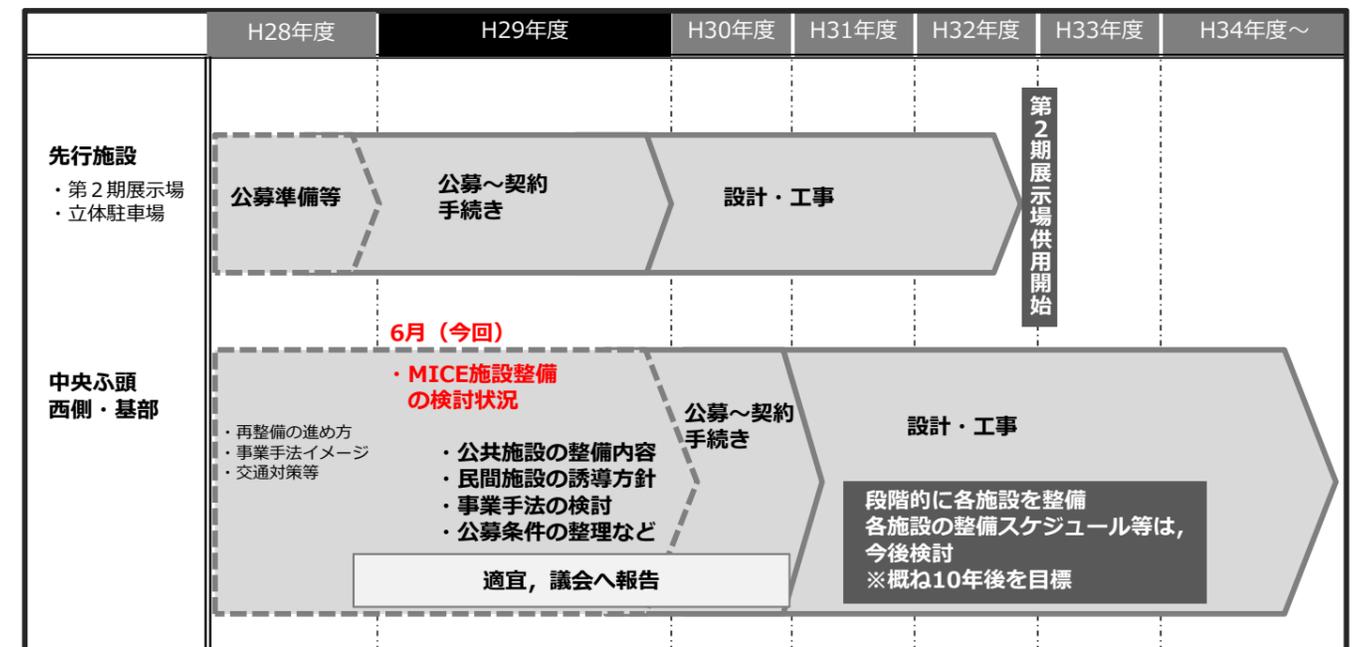
MICE関連施設について、施設計画や事業手法等について検討を深化させるとともに、関係局と連携しながら、公募方針等の検討を進めていく。

1) MICE施設の整備

- MICE施設の整備については、施設整備等に係る市の財政負担の軽減や、サービス水準の向上等を図るため、**民間活力を活かした事業手法**について検討を進める。

2) MICE施設の運営

- 現在、既存のMICE施設は、一般財団法人福岡コンベンションセンター（以下、FCC）による一体的な運営により、高い稼働率や安定的かつ公益性を重視した運営が行われている。
- 一方、現行の運営方法（指定管理者制度）では、運営の自由度に制約があり、長期的な視点での誘致等に課題も有している。
- このため、MICE施設（公共施設）の運営については、既存施設と新設施設の一体的な運営を目指し、**FCCによる運営**を基本に、運営手法については、運営の自由度が高く、長期的かつ戦略的な運営・誘致が可能な**コンセッション制度を活用**する方向で検討を進める。
- 上記の実現のため、FCCの運営体制の強化について検討を進めるとともに、ホテル事業者などの民間事業者との連携方法についても、検討を進めていく。



■第1ステージの進め方